

大江の伝統、こっばもちづくりに挑戦!

大江小学校 (天草町)
6年 中濱 諒一

大江小では、毎年、ふるさとの味「こっばもちづくり」に挑戦しています。作り方は、最初にこっばともち米を別々に蒸します。その後、蒸し上がった2つを混ぜ合わせて機械でつきます。最後に、つき上がったこっばもちを、きな粉にまぶして丸めたら完成です。こっばもちづくりの中でいちばん難しいのは、手のひらで丸めるところです。難しい作業だけど、地域の人たちがやさしく教えてくださるので、みんなじょうずです。

1年生のときからやってきたこっばもちづくりも、僕にとっては今年が最後ですが、これからも大江小の伝統として、大切にしていきたいと思っています。



機械でこっばをすりつぶす児童たち

ぼくのわたしの学校部活自慢



郡市中体連駅伝大会後に記念の1枚

みんなでつないだ襷

倉岳中学校 (倉岳町)
3年 佐々木 優衣

私たち選抜女子駅伝チームは、一昨年の郡市中体連駅伝大会5位という悔しい思いを胸に、昨年は「優勝」を目標に掲げ、「早朝練習」を中心にがんばってきました。大会では、みんなが持てる力を発揮し優勝することができ、とてもうれしかったです。また、男子も目標の6位入賞・敢闘賞を受賞することができました。この1年間、部活動の両立や夏休みの走り込みなど、つらいこともありました。いい経験ができ大切な思い出になりました。今年も、地元の天草市で開催される九州大会を目標として、さらにがんばってほしいと思います。これまで応援して下さった皆様、ほんとうにありがとうございました。

地域づくり
コーナー

住民主体のまちづくりを目標として

本渡南地区振興会 (会長 海江田雅靖)

人が動く
地域が動く
天草が動く

本渡南地区は、天草市の中央に位置し、人口は約9,300人で、地区内には多くの行政機関や公共施設があり、行政・経済・文化の中心とな

っているところです。本渡南地区振興会では、平成18年の振興会発足を記念して、毎年11月に本渡南地区大運動会を開催しています。この大運動会は、本渡南体育協会の役員や区長、体育推進委員など多くの住民が主体となっており、企画、準備、運営に携わっています。開催にあたっては、地区内の商店などから寄付を募り運営費の一部としているほか、参加賞として地区内の商店で使える1枚200円の「本渡南地区振興券」を配布しています。参加者から



▲昨年の大運動会のようす

宝島の健康
よさげ屋



吉本タエ子さん
(五和町手野・81歳)

◆毎日の楽しみは?

ご近所の農家でたまねぎ栽培の仕事をしていて、同僚の友だちと話すことをとても楽しみにしています。農場から眺める景色がとてもきれいで、気持ちよく仕事をさせていただいています。

◆健康の秘けつは?

家にじっとせず、体を動かすことがいちばんだと思います。おかげで大きな病気になったことはありません。また、息子夫婦や孫といっしょに暮らしていて、家族みんなから元気もらっています。



松本雄治さん (有明町須子・23歳)

高校を卒業後、県外に就職しましたが、2年前に帰郷して現在は電気設備関係の仕事をしています。また、地元では消防団に入団していて、地域のためにも活動しています。そして、今はサッカーに夢中。将来は、サッカー観戦を兼ねてヨーロッパ旅行ができたらと思っています。

1日の始まりにみんなで歌を

亀川保育園 (亀場町)

亀川保育園 (江崎静子園長・全園児112人)では、1日の始まりをゆったりとした気持ちで迎えたいと、園児全員が集まって歌を歌っています。美しい詩や旋律を大事にし、歌い継いでほしいと思い、童謡や唱歌、季節の歌を歌っています。友だちどうしで歌っているうちに、感じ、育っていくものがあるようで、最初は大声を張りあげていましたが、自然ときれいな歌声を聞かせてくれるようになりました。また、年長児などが小さいクラスの子たちの手をとって、リズムに合わせて歌う姿が見られるようになりました。これからも、いろいろな体験を通して、自分たちで感じ、考え、行動する力が育ってほしいと願っています。



仲良く歌を歌う園児たち

このゆびでとくまれ



防災フェアでいるいるな体験をしました!

子どもたちの目の輝きが、私たち、観音保育園の喜びです

観音保育園 (牛深町)

観音保育園 (福本康博園長・全園児64人)は、「心の力・学ぶ力・体の力」を備え感謝の気持ち「ありがとう」が笑顔で言える子どもの育成を目標とし、人間として生きていくための全面発達・自立へとつなげていく保育を行っています。また一人ひとりの環境を整え「自分でできた! (達成感) 自分でやれる! (自信)」などの経験を通して、子ども自身が認知し日々一瞬一瞬成長しています。昨年は、東日本大震災の衝撃で日本中が悲しみに沈みました。子どもたちの笑顔あふれる毎日が、どんなに幸せであるかを痛感し「大切な子どもたちの輝ける未来のために、今私たちにできることは!」という気持ちで保育にあたっています。

